

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞浪市立瑞浪中学校		
実 施 期 間	平成26年11月5日(水)～11月23日(日)		
実 施 概 要	①2年生き方講話(11/17) 職場体験学習(11/13・14) ②「ふるさと瑞浪を誇りに思う日」(オープンスクール)の設定(11/23) ・市制60周年記念花火大会翌日土岐川清掃ボランティアの実施 ・「ようこそ先輩 絵本作家 村上康成先生を迎えて」記念講演の実施 ・市制60周年記念式典に3年生が参加し、市内他校の3年生と共に合唱披露 ・お弁当の日(生徒が自分のお弁当をつくる)(11/23) ・授業参観(地域住民・来年度入学予定の瑞浪小6年生の保護者を招待)		
実 施 内 容	学習・取組の分野		
	<input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	公開の方法		
	<input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約260人	計 280人
	地域関係者	20人	
実 施 状 況	①2年生き方講話(11/17)、職場体験学習(11/13・14) ・講話「地域に生きる」 講師 瑞浪市ロータリークラブ 加藤安司氏 自分の経験をもとに実技を交えて、働く意義を中学生にわかりやすく話がされた。自分の住んでいる地元を大切にする気持ちから、新しい事業(高齢者福祉関係)に着手しようとしている今の心境についても話された。 ・2年生が地域の方をお迎えして講話を聞き、働く意味を中心に生き方について学び、11月13日から2日間、約50事業所に別れ、職場体験を行った。 ②「ふるさと瑞浪を誇りに思う日」(オープンスクール)の設定(11/23) ・前日に市制60周年記念花火大会が行われ、その翌日の花火会場周辺の早朝清掃に本校ボランティアが20名ほど参加した。 ・「オープンスクール」を設定し、保護者に限らず地域の方等に学校開放を行った。 ・11月23日の瑞浪市制60周年記念式典の日にオープンスクールの日を設定し、「ふるさと瑞浪」について生徒達が考え、行動する日とした。 ・本校出身の著名な絵本作家「村上康成」氏を迎え「ようこそ先輩」と題し、絵本の読み聞かせを中心に講演を実施していただき、先輩の活躍に誇りがもてる活動とした。この日を迎えるまでに各教室、図書館に先生のコーナーを設置し、先生の著した絵本を紹介し、興味をもたせて講演にのぞんだ。生徒達には大いに刺激となり大好評であった。 ・給食のない日の授業参観に合わせて、生徒が自分で自分のお弁当をつくる「お弁当の日」を設けた(4年目)。お弁当づくりを通して、「食」に対する関心を高めたり、作りあげた達成感が生徒自身の自信となり自立へとつながったりする効果を求めた。 ・午後の授業参観に民生委員や主任児童委員等の地域の方と来年度入学予定の児童、保護者に開放し、生徒の様子を参観してもらった。		
成 果 及 び 課 題	○2年生の行った職場体験では、多くの生徒が働くことの意義や大変さを感じることができた。また、地域の事業所も協力的に生徒支援にあたり、生徒のよい姿を認めていただけた ○オープンスクールには民生委員や来年度入学予定の小学生や保護者等、多くの地域の方が参観に訪れた。「村上康成先生の講演も生徒に大好評であり、進路を考える上で良きお手本としてとらえる意見が多かった。		